

郡上市 市民協働センター

情報誌 第10号
2015年(平成27年)
6月号

27年度市民協働センターの新たな取り組み

24年7月からスタートした市民協働センターもいよいよ丸3年を迎えます。ゼロからのスタートであったため1〜2年目は試行錯誤の連続、運営委員からも様々な見解が示され、とりまとめに時間を要したこともありましたが、区切りとなる26年4月から規約に修正を加え、委員が主体的に参加できる方式に切り替え、新たに執行委員制度を導入し、企画運営機能と執行機能を分け効率的な業務運営が可能となりました。

今年度からは、スタッフ体制も入れ替わり新たな気持ちで事業をスタートさせました。

今年の市民協働センターは、これまでの運営業務に加え、大きな事業を新たにスタートさせることになります。

その一つは、政府が推進する地方創生事業の事業を実施することです。その名も**まちづくりまちなみプロジェクト事業**。郡上市内で開催される様々なイベント情報を一元的に集約し、情報を求める人がホームページ上で、ワンストップで目的の情報を得られる仕組みです。同時に、各地域で実践されている市民協働の取り組みを、ケーブルテレビを利用して配信する事業を実施する予定です。

(実事業は10月頃実施)

もう一つは、**郡上暮らし会議**です。昨年度に始まったこの取り組みは様々な世代の市民からまちづくりや地域

課題について、アドバイスや解決方法を提示してもらうための機会でしたが、今年からは市民協働センターがみらい会議の運営を直接受託する方式に変わりました。

これにより郡上の未来づくりについて市民が直接参加して取り組むことが可能となりました。

(詳細は2〜3ページに記載)

最後の一つは、市民活動団体連絡協議会の設立です。この団体は今年3月に市内の33のNPO法人及び市民活動団体により結成された協議会組織です。市民活動の支援や連携を広げるために取り組みを進めます。

(4ページ参照)

2015 地域づくり講演会

魅力あるまちづくり、持続可能な地域づくり

6月14日(日) 午後1時開場 午後2時開会

会場：郡上八幡総合文化センター 多目的ホール

講師：島根県雲南市職員 藤本 万葉氏

15:30〜 質疑応答 4時閉会予定

主催：郡上市市民協働センター

共催：郡上市

後援：郡上市自治会連合会

郡上市市民活動団体連絡協議会

新規採用職員紹介

27年4月13日付けで協働センターの事務員として新しく入社致しました **三島 真由香**です。

市民協働センターって？

このような職場が全く初めての私には入社早々から？だらけの毎日となりました。それでもひとつひとつ業務の意味を覚えてもらいながらゆっくりですが確実に仕事を進めています。

新しい一歩としてまず今できる事、やるべき事をきちんと取り組みながら、日々の努力とともに、周りの人々への感謝の気持ちを忘れずに大切に進んで行きたいと思っています。

皆様今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



郡上みらい会議って何だろう～??



郡上みらい会議は、28年度から10年間の計画である郡上市の総合計画を策定するに当たって、審議前に郡上市の課題と展望について、広く市民に話し合ってもらう機会を設けるため設置された市民会議です。

これまでのように、行政主導の取り組みでは、出される意見も限られるため、市民協働の手法を利用して、市民主導の取り組みとして実践しようという企画意図により実施されています。

26年度中には、4回のみらい会議が実施され(内1回は岐阜大学主催)毎回30名～60名規模の参加者により、グループワーク方式で話し合いを行い、各回ごとに定められたテーマをグループで話し合い、様々な意見や課題が抽出されました。

26年度 郡上みらい会議開催状況

第1回 みらい会議のまとめ

「郡上の魅力って何？」

「郡上で足りないものって何？」というテーマで話し合ってもらった後で、「じゃあどうすればいいの？」という設問を図にしました

	日付	内容	一般参加者数	市職員
第1回	11月20日	みらいに向かって郡上は何をするべきか	44名	18名
第2回	1月27日	郡上市の人口問題について	28名	13名
第3回	2月13日	災害から身を守るためには	22名	3名
第4回	3月24日	空き家の問題について	21名	11名

じゃあどうすればいいのか

【自然環境】

低炭素、低エネルギーのまちづくり
・小水力発電の活用

豊かな自然環境の維持

・自然を豊かにすることにより、郡上の生活を豊かに！

【地域の活性化】

文化的なまちづくり
・映画祭、音楽祭

高齢者に優しいまちづくり

・移動手段の確保
・歩いて買い物できるまちづくり

産業の振興

・企業誘致、起業家の育成

観光振興

・伸ばせるところは伸ばす振興策を。
・長良川鉄道トロック列車の復活

【人口問題】

若い人を呼び込むまちづくり

・子育てしやすい環境づくり

・家賃の補助

・活躍できる場づくり(仕事など)

・大学等高等教育機関の設置

・郡上を想う、熱い人を育てる

【人材、人材育成】

若い人

やる気がある人

リーダー

お金を生む

【産業・雇用】

仕事・働く場所

【都市と郡上】

情報発信力の強化

・郡上の魅力について、色々な手段を用いたPR

・移住者に対する移住生活を試せる仕組み

名古屋等都市圏と直接つながる手段

・列車等の接続

【意識・その他】

みんなで共通認識をもつこと

自分たちの価値観を変える発想力

市民のコミュニケーションを増やす



※グループ発表における意見をまとめました。これ以外にも参加者の皆さまから多くのご意見を頂きました。

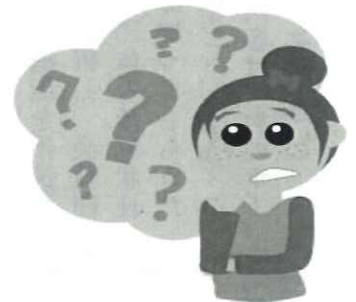
郡上みらい会議の新たな展開に向けて

27年度からは、市民協働センターがみらい会議の企画運営を任されることになりました。
それは、市民協働の理念をさらに一歩進め、“市民主体”の
取り組みとして発展してもらいたいという郡上市の意向に
よるものです。

今回からは新たに「郡上市総合戦略」の策定に向けた取
組みの位置づけが加わりました。この総合戦略とは、人口
減少の克服や地方創生をテーマとした、① しごとづくり ②
ひとの流れ ③ 結婚・出産・子育て ④ まちづくり に焦点を
絞り、まち・ひと・しごと創生の好循環を生み出すことが
目的とされています。



- ① 地方にとって大切な“仕事”や“職場”を確保するためにはどうしたら良いのか?
- ② 若者や移住者が集まる地域にするために必要なものは何だろうか?
- ③ 結婚・出産・子育てしたい街にするためにはどうしたら良いのか?
- ④ そんな“魅力的なまちづくり”のために必要な施策とは何だろうか?



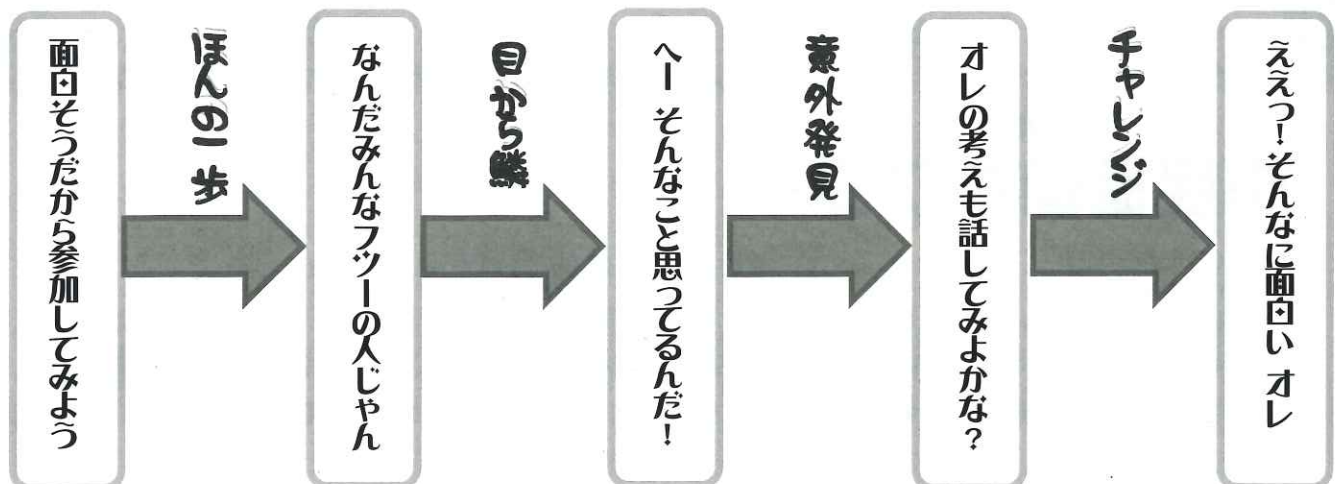
市民が創る郡上のみらい

今年度は6月10日から みらい会議をスタートします
八幡総合文化センター 2階多目的ホール 19:00 より
9月までに、6回の会議を予定しています



- ① 今回は、女性が参加しやすいように休日の日中
(午前10時開始)の開催も行います。
(7月、9月に2回開催予定)
- ② テーマごとにみらい会議からの提言をとりまとめ、
「郡上みらい会議運営委員会」として市に提出します。
- ③ みらい会議の基本的な運営を市民参加で行い
提言の実現に向けた取り組みにつなげます。

みらい会議に参加してみよう!!



郡上市で最初にNPO
団体が設立されたのは、
平成十二年(2000年)
になります。

それから十五年が経
ちますが、それ以来現
在までに、三十二の団
体が法人化されていま
す。

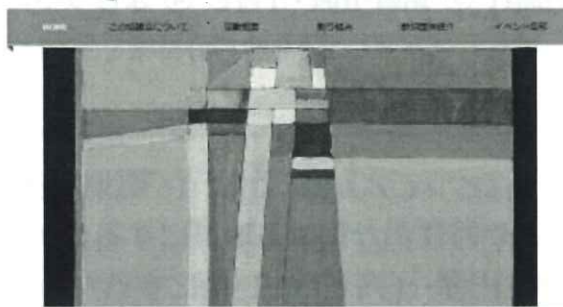
それぞれのNPO団体
はまちづくり、福祉、
子ども、文化、環境な
ど各分野で取り組みを
進めています。活動
自体が営利を目的としてい
ないため、団体の活動を維持する
ための運営に苦戦しています。

欧米では、このような活動団
体には、個人や企業から寄付金
が寄せられ、その支援を得て団
体の活動が十分な効果が出せ
るように支えられています。

一方で寄付文化(通常の法人
に寄付しても税額控除が受け
られない)のない日本では、寄
付や協賛という収入は見込め
ず、もっぱら会費と助成資金に
頼らざる得ない現状が活動の
広がりをも阻害しています。

このような団体単体の活動
を支援するためには、そのよう
な市民活動団体を支援・応援す

郡上市市民活動団体連絡協議会 Gujo NPO&Civil Action Council



連絡協議会のホームページ

<http://hobojungles.wix.com/sidankyo>

ることを目的とした、中間支
援団体や、市民活動支援セン
ターのような行政系のサポー
ト体制が必要です。

その目的のために今年3月
に、市内のNPO団体と市民活
動団体が連携するための組織
『郡上市市民活動団体連絡協
議会』が発足しました。

(現在三十三団体が加入)

現在は事務局機能を市民協
働センターに設置し、会員団
体の交流と、団体の活動状況
を広く市民に知ってもらいた
めの作業を進めています。

(詳しい活動内容は、右のホー
ムページからご覧下さい)

編集後記

市民協働センターの活動理念は「市民・行政のそ
れぞれの力をつなぎ、市民力、自治力を高める」で
す。今年7月で設立して4年目を迎えます。

1年目は、第1回まちづくりプロジェクトコンテ
ストを開催し、地域の課題を解決するために、市民
同士あるいは市民の皆さんと行政が協力して取り組
むアイデアを募集しました。

2年目は、アイデアをより多く実現するため、
センターがコーディネーター役として地域に出て、高
校生が提案した「GGC郡上ガールズコレクション」
を実現したり、市民協働の事例を集めた「きよ
うどう」という冊子を作成したりしました。

そして3年目は、7カ町村の公民館などに行き、
地域の活動の様子や困りごとを聞いて回ったり、休
眠していたNPO連絡協議会を市民団体連絡協議会
として再結成することを支援してきました。

そして、この4年目は地方創生の追い風を受け、
センター職員を増員し、新たなプロジェクトも始ま
ります。なりゆき任せの郡上の未来も決して悪くな
いと思います。しかし、社会がどうであろうと、自
分たちの地域は自分たちでつくるという誇りをもつ
た郡上市民が、今よりも、少し明るい未来を臨め
ば、この追い風は必ず郡上市民の糧となります。
まずはぜひ、センターに足を運んで
みて下さい。

〈運営委員 興膳 健太〉



郡上市

市民協働センター

TEL 0575-88-2217

FAX 0575-88-2218

E-mail kyodo-c@gujo-tv.ne.jp

〒501-4607 郡上市大和町徳永 585 番地

郡上市役所 大和庁舎 1階

業務日時：月曜日～金曜日 8:30～17:15

(土・日・祝祭日・12/29～1/3 をのぞく)

※事前にご予約いただければ、平日は20:00まで、

土・日曜日は10:00～17:00まで対応可能です。

